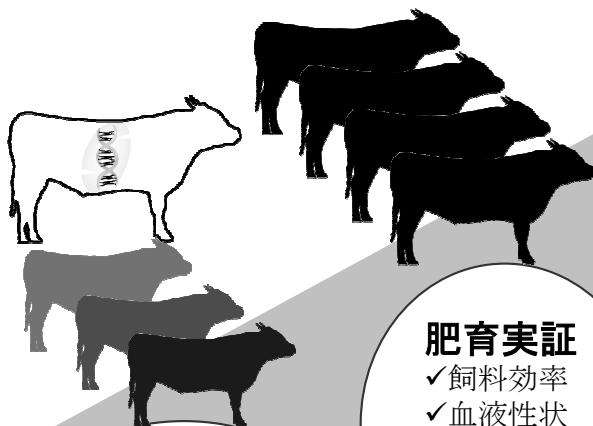


# 育種情報の高度化によるおいしい牛肉の開発

肉用牛の生産、牛肉の流通、消費では、牛肉自給率を増加させ、安全でおいしい牛肉を供給し、輸入牛肉と差別化することが課題。

和牛肉の特徴、おいしさの定量化技術を用いておいしさの指標を開発する。これを育種へフィードバックしておいしい牛肉を開発する。



## 肥育実証

- ✓飼料効率
- ✓血液性状
- ✓遺伝子の発現

## 育種情報を高度利用した和牛のDNAマーカーアシスト選抜

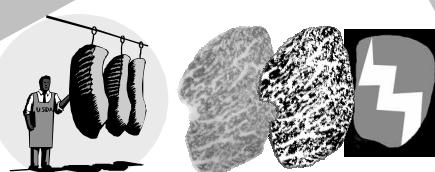
- ✓DNAマーカー  
BTA2, BTA24  
SCD

## おいしさの指標化

- ✓おいしさの指標の開発
- ✓おいしさ指標の簡易測定

## 遺伝子型効果の検証

- ✓枝肉形質調査
- ✓牛脂肪の融点
- ✓牛脂肪の脂肪酸組成
- ✓牛肉のアミノ酸組成
- ✓しもふり状態の数値化
- ✓牛肉のおいしさの数値化



1. おいしさの指標
2. 育種への応用
3. おいしい牛肉の開発

## 期待される波及効果

- おいしい和牛の確立
- おいしい牛肉供給
- 肉用牛振興

